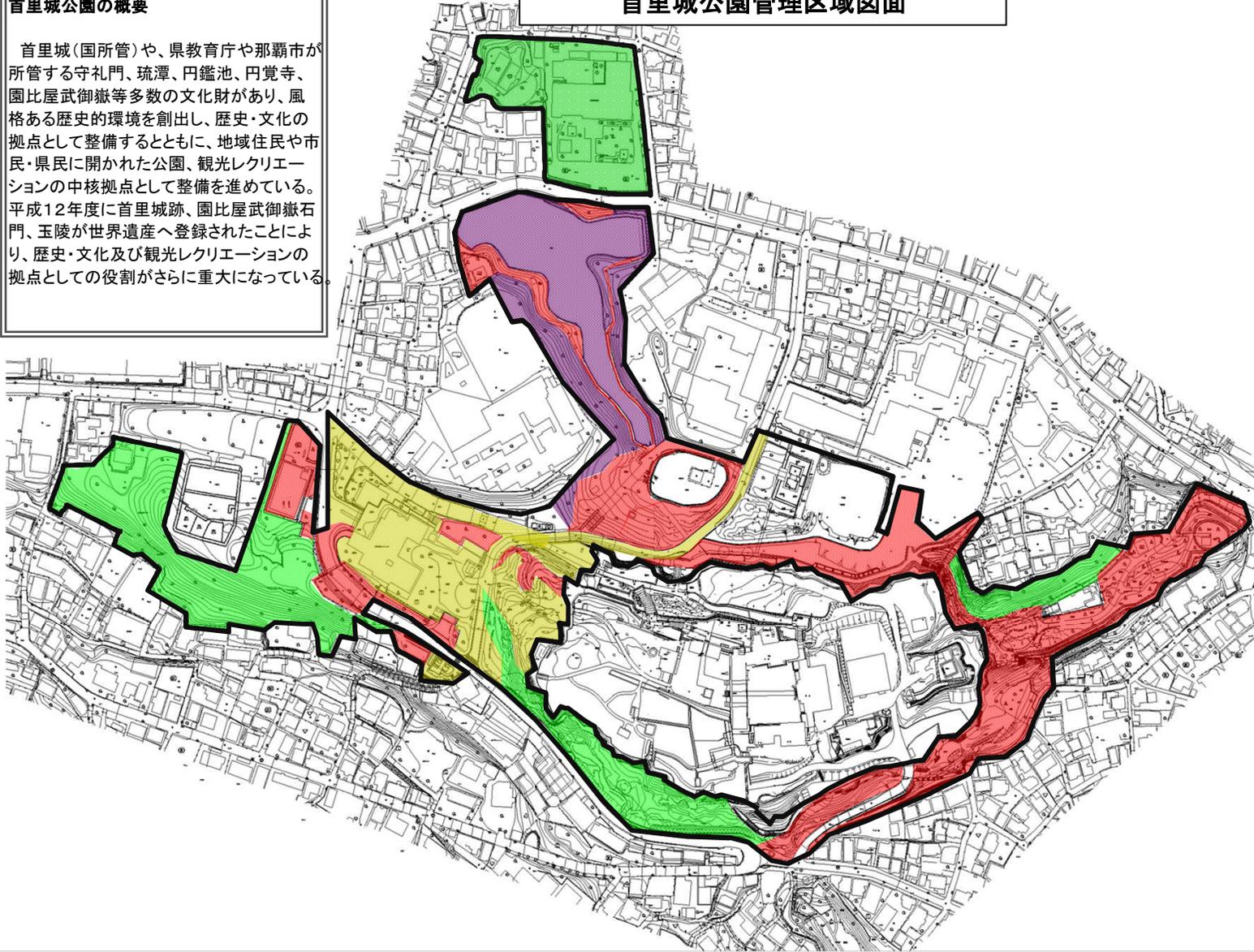


首里城公園管理区域図面

首里城公園の概要

首里城(国所管)や、県教育庁や那覇市が所管する守礼門、琉潭、円鑑池、円覚寺、園比屋武御嶽等多数の文化財があり、風格ある歴史的環境を創出し、歴史・文化の拠点として整備するとともに、地域住民や市民・県民に開かれた公園、観光レクリエーションの中核拠点として整備を進めている。平成12年度に首里城跡、園比屋武御嶽石門、玉陵が世界遺産へ登録されたことにより、歴史・文化及び観光レクリエーションの拠点としての役割がさらに重大になっている。



【植栽の管理水準】
 「県営公園植栽維持管理水準書」で示す水準で実施すること。

- 【警備の水準】**
- (1) 常駐警備を1ヶ所上設置する。
 - (2) 昼は4回以上、夜は3回以上の巡回警備を行う
 - (3) 地下駐車場は、常駐誘導を出入りに設置し、駐車場内に必要最小限の誘導員を配置すること。
 - (3) 立入が困難な場所については、可能な範囲で、目視による確認を行う。
 - (4) 立入が困難な場所については、可能な範囲で、目視による確認を行う。

【清掃の水準】
 「沖縄県営都市公園管理運営仕様書」のとおりとする。区域の色分けは、下記のとおり。

清掃の水準

	Aレベル区域
	Bレベル区域
	Cレベル区域
	Dレベル区域
	Eレベル区域